

文字摺通信

第 100 号
2025年11月15日
発行:文字摺歴史文化社

第100号記念増ページ特大号

幕末信達地方に於ける文化サロンの展開 その1

史料「書画詩歌連俳点茶插花栞棋集」 を読む

若い頃あちこちの自治体史に関わりました。信達地方では、福島市、桑折町、飯野町、月舘町などです。担当は近世史。政治・経済の主な所は先輩方が担当し、私は主に生活文化というか、庶民の楽しみ・身近な文化を受け持ちました。これらの市町村史との関わりの中で拝見することができた史料を当時とは違った角度から見直して紹介してみようかと思います。

今回紹介する史料は『月舘町史』に載せた史料「年未詳 書画詩歌連俳点茶插花栞棋集」です。こうした史料では掲載される氏名はペンネームが主なので実名が不明という人物が多いのですが、冒頭にでてくる「ホハラ 適山」（熊坂適山[1796～1864]）、「スカ川 多与女」（市川たよ女[1776～1865]）、「アヒツ 香村」（遠藤香村[1787～1864]）などから、『月舘町史』では「年未詳」としましたが、19世紀中ごろ、幕末の史料であることがわかります。

史料の最上段にタイトル「書画詩歌連俳点茶插花栞棋集」とあり、その下に小さく「於布川茂林精寺開筵 四方諸部学所能為論也 貴臨 月舘 山甫 歹拝」と書かれています。つまり、幕末に布川村（現伊達市月舘町布川）の茂林寺で月舘の山甫（菅野新四郎）が主催した、書画・和歌・俳諧・連句・茶道・生け花などを出品する一大教養イベント信達連合文化祭なのです。なお、江戸時代に月舘村はなく、菅野新四郎の住む月舘は下糠田村の町場を月舘と称しています。同様に川俣や保原もそうで、川俣は町飯坂村と町大綱木村の町場を、保原は中村・下保原村・町市柳村の町場をそのように称しています。宿場町八丁目は八丁目村・天明根村・鼓ヶ岡村の

「書画詩歌連俳点茶插花栞棋集」に参加者のあった村一覧

番号	郡名	所属自治体	所属村名	番号	郡名	所属自治体	所属村名
1	信夫郡	福島市	御山	29	伊達郡	伊達町	岡
2	信夫郡	福島市	鎌田	30	伊達郡	伊達町	長倉
3	信夫郡	福島市	清水町	31	伊達郡	伊達町	伏黒
4	信夫郡	福島市	瀬上	32	伊達郡	月舘町	上手渡
5	信夫郡	福島市	土湯	33	伊達郡	月舘町	下手渡
6	信夫郡	福島市	庭坂	34	伊達郡	月舘町	糠田
7	信夫郡	福島市	八丁目	35	伊達郡	月舘町	布川
8	信夫郡	福島市	福島	36	伊達郡	月舘町	御代田
9	信夫郡	福島市	山口	37	伊達郡	保原町	泉沢
10	信夫郡	福島市	渡利	38	伊達郡	保原町	大塚
11	伊達郡	福島市	板谷内	39	伊達郡	保原町	金原田
12	伊達郡	福島市	大波	40	伊達郡	保原町	高子
13	伊達郡	福島市	湯野	41	伊達郡	保原町	中瀬
14	伊達郡	飯野町	青木	42	伊達郡	保原町	二井田
15	伊達郡	飯野町	飯野	43	伊達郡	保原町	柱田
16	伊達郡	飯野町	大久保	44	伊達郡	保原町	保原
17	伊達郡	川俣町	飯坂	45	伊達郡	梁川町	粟野
18	伊達郡	川俣町	小島	46	伊達郡	梁川町	大枝
19	伊達郡	川俣町	川俣	47	伊達郡	梁川町	五十沢
20	伊達郡	川俣町	小神	48	伊達郡	梁川町	塚原
21	伊達郡	川俣町	羽田	49	伊達郡	梁川町	二野袋
22	伊達郡	国見町	藤田	50	伊達郡	梁川町	舟生
23	伊達郡	桑折町	上郡	51	伊達郡	梁川町	梁川
24	伊達郡	桑折町	桑折	52	伊達郡	梁川町	柳田
25	伊達郡	桑折町	伊達崎	53	伊達郡	梁川町	山舟生
26	伊達郡	桑折町	谷地	54	伊達郡	霊山町	石田
27	伊達郡	桑折町	成田	55	伊達郡	霊山町	掛田
28	伊達郡	桑折町	半田	56	伊達郡	霊山町	瀬成田
				57	伊達郡	霊山町	山戸田
				58	伊達郡	霊山町	山野川

注:①半田村は北半田村に、糠田村は下糠田村に、大枝村は東大枝村にカウントした。
②所属自治体は平成の大合併前の市町村名とした。